



園長便り

2015年7月31日発行

セブンスデー・アドベンチスト石川教会付属 石川三育保育園

一昔前、アメリカが咳をすると日本が風邪を引くという表現がされていました。これは、一国の経済の良し悪しが、関わっている国に影響を与えることを伝える言葉でありました。今では、更に深刻な問題に発展しています。これを物語る出来事がつい最近、世界中を席卷しました。

7月5日、世界中の国々が、ギリシャの国民投票の行方を、固唾を飲んで見守っていました。それもそのはずで、ギリシャの財政危機問題は、EUという地域の枠組みの中だけの問題に留まらず、今や世界中の経済に影響を与える問題であったからです。

何故、ギリシャで国民投票をしてまで、国の命運をかけようとしたのでしょうか。それは、緊縮財政反対を掲げて選挙で選ばれたギリシャのチプラス首相が、ゆきずまったEUや金融機関との関係の責任の矛先を首相自身に向けさせないためであり、国民投票の結果がギリシャの総意であることを示して、改めてEUや金融機関に圧力を与えるためであると伝えられています。

投票は、EU側が求める緊縮経済政策を、61%を超えるギリシャ国民が反対する結果になりました。ギリシャ国民は、自分たちが苦しむ、年金の削減や消費税アップ等の問題に、「NO」という意思を明確に表したのです。この結果を経て、チプラス首相は、「民主主義が勝利した」と宣言しました。ところが、この宣言が物議を醸しているのです。自国の財政運営の責任は問わずに、EUや金融機関に非があると宣言しているのに等しいからです。

さて、ミツバチは、「みんなの意見」で賢い判断を下すと言われていています。ミツバチはこの賢い判断を新しい巣作りで発揮するというのです。それは、次のような仕組み行われます。まず、偵察バチたちが最適な候補地を求めて探し回ります。次に、見つけてきた偵察バチが各々踊りでみんなの前でアピールします。それを見た他の偵察バチが、納得できる踊りをした偵察バチと共に場所を確認するために出かけて行きます。この方法を繰り返していくと、不思議なことに、最終的に一匹の偵察バチの見つけた候補地に意見が集約されるのです。そして、結論が出ると、偵察バチが女王や働きバチを最終候補地に連れて行き、新しい巣作りがスタートするというわけです。こうして、スタートした巣作りですので、不意に襲ってくる敵や自然環境の異変があったとしても、不平不満の行動するハチはいません。

「民主主義」とは、いったいどういう意味を持っているのでしょうか。辞書によると、国を動かすのは、立法者や政府ではなく、国民であると謳っています。この論理からすると、利益を受けるのは国民であると同時に、不利益を被るのも国民であるということです。もし、間違った選択をして、不利益が生じた時、責任を負うのは国民であるというのが、「民主主義」の精神ではないのでしょうか。互いに真実を尽くしたいものです。

園長 糸数正義

聖書のみ言葉

『こういうわけだから、あなたがたは偽りを捨てて、おのおの隣り人に対して、真実を語りなさい。わたしたちは、お互に肢体なのであるから。』
エペソ人への手紙 4:25

